

生涯学習センター
公開講座のご案内

海
心



大阪公立大学書道部

2023年度

10月-3月



ごあいさつ

生涯学習としての公開講座

2022年4月、大阪府立大学と大阪市立大学は統合して大阪公立大学となりました。両大学の「知」が結集することで、より充実した公開講座をお届けできるようになると自負しています。目まぐるしく変わる現代社会のさまざまな現象や科学技術などの最新の情報をわかりやすく伝えるもの、また一方でそのような変化の中でも変わらない人間の本質を見究めようとするものなど、常に学問における「不易と流行」を意識しつつ、企画を考えていきたいと思っています。また本学では「学び」が継続できる環境を整えていく予定です。この公開講座は、まさに「生涯学習」への入口の役割を果たすこととなります。みなさまの積極的なご参加をお待ちしています。



生涯学習センター長
西田 正宏

生涯
学習



安心安全に受講していただくための対策とお願い



- ・常時空調運転による**換気を実施**しています。
- ・講座の前後に教室内、施設内を**消毒**しています。



- ・発熱や体調不良のある方は、参加をお控えください。
- ・会場では**基本的な感染症対策（手指消毒、換気の実施等）**にご協力ください。

受講に際しての注意事項

- ・受講生本人以外の代理出席、同伴、見学はできません。
- ・駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。
- ・受講に際し、障がい等を理由としてなんらかの配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
- ・講義中、講師や他の受講生に迷惑になるような行為、その他本学が講座運営上不適切と判断する行為があった場合は、受講資格を取り消すことがあります。
- ・感染症の流行や自然災害等の影響により、日程・開催方法・講座内容等が変更となる場合があります。
- ・上記のほか、受講にあたってのご案内・注意事項はP14～15をご覧ください。

Meet 学問に出会う

難易度 ★ (初心者歓迎)

ロシア・バレエと日本の歴史的関係	P3
開催日 10/7~12/9 定員 60名 受講料 5,000円 (全6回分) I-siteなんば	人文
観光とお土産物のデザイン	P4
開催日 10/20 定員 30名 受講料 無料 I-siteなんば	人文
ストレッチング&ウォーキング	P4
開催日 10/25~12/20 定員 50名 受講料 5,000円 (全8回分) 中百舌鳥キャンパス	生活・健康
ちゃっかりしっかり寄生植物	P4
開催日 11/25 定員 60名 受講料 1,000円 (全1回) I-siteなんば	ライフサイエンス
古代難波宮研究の最前線	P5
開催日 11/6~11/27 定員 100名 受講料 4,000円 (全4回分) I-siteなんば	人文
SDGs~持続可能な未来社会を考える	P5
開催日 11/24~12/15 定員 受講料 ※企画中 オンライン	横断
公大講座 (第3部)	P6
開催日 11/9~11/27 定員 60名 受講料 4,000円 (全4回分) I-siteなんば	横断
知の巨人 ミシェル・フーコー 1、2、3 (仮題)	P6
開催日 3月 (予定) 定員 受講料 ※企画中 I-siteなんば	人文
森ノ宮には何があった? (仮題)	P7
開催日 3月 (予定) 定員 受講料 ※企画中 大阪歴史博物館	人文
中国語初級者向けのICTを活用した中国語学習法 (仮題)	P7
開催日 3月 (予定) 定員 受講料 ※企画中 オンライン	人文
私たちの暮らしとお金を考える	P8
開催日 10/3~10/24 定員 120名 受講料 無料 文化交流センター	社会

Enrich 学問を深める

難易度 ★★ (要基礎知識) ~★★★★ (専門職向け)

学校コラボレーションセミナー	P10
開催日 9/8~1/25 定員 50名 受講料 12,000円 (全6回分) オンライン	人文 社会
心理専門職のための体験から学ぶ心理療法	P11
開催日 10/13~12/22 定員 40名 受講料 12,000円 (全6回分) I-siteなんば	人文
毒性病理学基礎講座	P12
開催日 1/27~3/16 定員 20名 受講料 10,000円 (全6回分) I-siteなんば	ライフサイエンス

公開講座の会場

※地図は本冊子P16をご覧ください。

公開講座のカテゴリー

※各講座の右上に表示しています。

人文 (哲学、歴史、教育、心理、言語、文学、芸術、文化 など) 社会 (経営、経済、法学、政治、都市防災 など)
 IT (情報、通信、人工知能 など) 理工 (数学、自然科学、工学 など) ライフサイエンス (生物、農学、獣医学 など)
 生活・健康 (医学、看護、福祉、栄養、居住、スポーツ など) 横断 (分野横断) その他

Meet

学問に出会う

受付開始
8月下旬

ロシア・バレエと日本の歴史的関係 ～ヨーロッパでの発祥から日本に伝わるまで～

人文

日時：10月7日(土)～12月9日(土) 10:30-12:00 各土曜日・全6回

定員：60名 受講料：5,000円(全6回分)

Webページ公開・申込受付開始：8月下旬～

I-siteなんば

講義概要

ロシアによるウクライナ侵攻後、ロシア文化をキャンセルする「キャンセル・カルチャー」が急激に広まるかに思われた時期もありました。しかし、今日でもロシア由来のバレエ作品は世界中で上演され続けています。ロシアと世界のバレエのつながりを解き明かし、日本のバレエ教育の展開や現状を理解するための手がかりとなればと思います。

講師 斎藤 慶子 (大阪公立大学大学院 文学研究科 特任講師)



講義スケジュール

- | | |
|------------------|--|
| 第1回
10月7日(土) | イントロダクション：バレエ成立の歴史
バレエはイタリアで生まれ、フランスで育ち、ロシアで成熟した、とよく言われます。じつはそのロシアでも外国人が中心となってバレエの発展に貢献した歴史があります。バレエの国際性について解説します。 |
| 第2回
10月14日(土) | バレエ・リュス：世界のバレエ団の礎に
バレエ・リュスは、20世紀初頭の世界の芸術界に大きな影響を及ぼした、ロシアのバレエ団です。バレエ・リュスの参加者たちが、現在各国を代表するバレエ団の基礎を築いたことについて解説します。 |
| 第3回
10月28日(土) | ソヴィエト・ロシア：全国へのバレエ普及
革命直後は皇帝のための娯楽として糾弾されたバレエが、やがてソ連の文化政策に組み込まれ主要な位置を占めるようになりました。全国へバレエを普及させたその方策と、ソ連時代に特徴的なバレエ作品の演出法について解説します。 |
| 第4回
11月11日(土) | 冷戦とバレエ：文化外交
冷戦構造を背景に、米ソは1950年代から世界各国に文化団体を派遣し、影響力を競い合いました。文化外交は一般にアメリカが勝利したとみなされていますが、バレエ分野では違った風景が見えてくることを説明します。 |
| 第5回
11月18日(土) | 日本：国内初のバレエ学校
1960年東京都世田谷に、日本ではじめてのソ連式のバレエ学校が創立されました。日本のバレエ教育史の転換点です。この学校の成果によって、関西を含めた全国にソ連式バレエ教育が広く知られるようになったことを説明します。 |
| 第6回
12月9日(土) | ウクライナ：ソ連の遺産とナショナル・アイデンティティの確立
ロシアによるウクライナ侵攻は、ウクライナのナショナル・アイデンティティの形成を促しています。バレエにおいても、独自のレパートリー形成の模索が続いています。 |

受付開始
9月上旬

アカデミックカフェ@I-siteなんば 和歌山大学連携事業公開講座 観光とお土産物のデザイン

人文

日時：10月20日(金) 18:30-20:00 全1回

定員：30名 受講料：無料

Webページ公開・申込受付開始：9月上旬～

I-siteなんば

講義概要

あなたはなぜそのお土産物を買ったのですか？どんなお土産物をもったら嬉しいですか？それはどのようなデザインだったのでしょうか？観光においてお土産物は楽しみの一つで、地域にお金を落とす貴重な観光資源です。この講座では、日本と外国のお土産物感の違いや、現在のお土産物事情、インバウンド対応の課題について解説しながら、観光・地域を持続可能なものにするためにはどのようなお土産物のデザインであるべきなのか、論じていきます。

講師 北村 元成 (和歌山大学 観光学部 教授)



受付開始
8月下旬

ストレッチング&ウォーキング

生活・健康

日時：10月25日(水)～12月20日(水) 14:00-15:00 全8回

定員：50名 受講料：5,000円 (全8回分)

Webページ公開・申込受付開始：8月下旬～

中百舌鳥キャンパス

講義概要

加齢とともに下肢筋群や全身持久力が低下していきます。こういった問題を解決するための手段としてウォーキングが推奨されます。ウォーキングは速度を変えることで比較的安全に運動強度を調整できるため、いつでもおりのウォーキングと強度の高いウォーキングを交互に織り交ぜることで下肢筋力や全身持久力の向上が期待できます。この講座では、運動効果を向上させるためのストレッチングとウォーキングを組み合わせたハイブリッドエクササイズを皆さんと実施します。

講師 川端 悠 (大阪公立大学 国際基幹教育機構 准教授/スポーツプログラム開発センター長)



受付開始
9月下旬

ちゃっかりしっかり寄生植物 ～その驚きの生存戦略とは～

ライフ
サイエンス

日時：11月25日(土) 14:00-15:30 全1回

定員：60名 受講料：1,000円

Webページ公開・申込受付開始：9月下旬～

I-siteなんば

講義概要

植物の中には、他の植物から水や栄養分を頂戴して生きるちゃっかり者がいます。「寄生植物」と呼ばれているこれらの植物は、ちゃっかりなだけでなく意外としっかりした生存戦略を駆使します。寄生する相手を見つけ、神経を持たないのに相手に触れたことを知り、相手とつながる。そんな寄生植物の生き方を見てみましょう。

講師 青木 考 (大阪公立大学大学院 農学研究科 教授)



受付開始
9月中旬

博学連携講座

人文

古代難波宮研究の最前線

日時：11月6日(月)～11月27日(月) 18:30-20:00 各月曜日・全4回

定員：100名 受講料：4,000円(全4回分)

Webページ公開・申込受付開始：9月中旬～

I-siteなんば

講義概要

博学連携講座は、大阪公立大学と大阪市博物館機構・大阪市文化財協会が連携し、大阪市を中心に関西の豊かな歴史を多角的に明らかにすることを目的として開催されます。

上町台地の先端部に営まれた難波宮は、古代国家の歴史を知る上で、重要な舞台でした。発掘成果や地形分析、文献史の読み直しなどによって都(都市)の生成、政治拠点としての意義など、最新の研究成果を学ぶことができます。

講義スケジュール



第1回 古環境・古地形復元からみた難波

11月6日(月)

7世紀中頃までの200年間、上町台地では日本列島でいち早く都市化が進みました。発掘調査の成果を活かし、前提となった古環境・古地形と関連づけながら都市形成の過程をたどり、難波宮・京の前史を明らかにします。

講師：南 秀雄(一般財団法人大阪市文化財協会 理事兼事務局次長)

第2回 難波の都宮

11月13日(月)

難波には、飛鳥時代、奈良時代の2回にわたって天皇の宮と都が置かれました。また応神天皇や仁徳天皇の時代に宮が置かれたという伝承もあります。これらの宮と都について、文字史料と考古学の成果の双方から考えます。

講師：古市 晃(神戸大学大学院 人文学研究科 教授)

第3回 難波宮研究の現在

11月20日(月)

来年は難波宮の発掘調査が始まって70年となります。これまでの難波宮の調査と研究を振り返り、明らかとなったこと、残された課題、近年の論争などを紹介します。これらを通して難波宮の歴史的意義を考えます。

講師：村元 健一(大阪歴史博物館 学芸員)

第4回 前期難波宮の使われ方と大化改新

11月27日(月)

上町台地に残された前期難波宮の遺構は、大化改新の舞台となった難波長柄豊碕宮の遺構であると考えられます。この王宮はどのように使われていたのでしょうか？今回は官僚制とのかかわりからこの点を考え、大化改新の実像に迫ってみたいと思います。

講師：磐下 徹(大阪公立大学大学院 文学研究科 准教授)

横断

受付開始
9月下旬

いずみ市民生協共催公開講座

SDGs～持続可能な未来社会を考える

日時：11月24日(金)～12月15日(金) 10:30-12:00 全4回

※詳細が決まり次第、Webサイトでご案内いたします。



オンライン

受付開始
9月中旬

公大講座（第3部）

横断

日時：11月9日(木)、11月16日(木)、11月20日(月)、11月27日(月)
10:30-12:00 全4回

定員：60名 受講料：4,000円（全4回分）

Webページ公開・申込受付開始：9月中旬～

I-siteなんば

講義概要

大阪公立大学の研究者が自身の教育研究内容の一端をご紹介します、さまざまな専門分野について本学教員がわかりやすくお話しします。



講義スケジュール

食の安全って何？ —正しい考え方を知ろう—

第1回
11月9日(木)

人が生きていくために欠かせない食品は、安全であることが絶対的に求められます。しかし「安全な食品」って、いったい何でしょう？そもそも、絶対に安全な食品ってあるのでしょうか？本講座では、食の安全・安心を、科学的な根拠に基づいて解説します。

講師：三宅 眞実（大阪公立大学大学院 獣医学研究科 教授）

ドイツ・ユダヤ人の歴史 —迫害と迫害のはざまで—

第2回
11月16日(木)

ドイツのユダヤ人迫害と聞くと、誰もが真っ先にナチスの時代を思い出すでしょう。しかしナチス以前のユダヤ人迫害で最大のものも、他ならぬドイツで、中世の黒死病の時期に起っています。なぜ迫害はくり返したのでしょうか。この問いに迫りたいと思います。

講師：佐々木 博光（大阪公立大学 国際基幹教育機構 准教授）

画像認識・画像解析について —画像から得られる情報をどう使うのか—

第3回
11月20日(月)

コンピュータにより画像から得られる情報をどのように使えば人々の生活をより豊かに楽しいものにできるのかについて、いくつかの研究例を交えながらお話しします。画像処理に関する最新のAI技術についても解説できればと思います。

講師：泉 正夫（大阪公立大学大学院 情報学研究科・現代システム科学域 教授）

ダニやカビだけではない —ハウスダストに含まれる多様なアレルゲン—

第4回
11月27日(月)

ハウスダストは喘息をはじめとするアレルギー疾患を誘発します。その中の主要アレルゲンとしてダニやカビがよく知られていますが、他にも多種多様なアレルゲンの存在が明らかにされています。本講義では、一般的にはあまり知られていないアレルゲンも含め、ハウスダストアレルギーに関する最新の知見を概説します。

講師：石橋 幸（大阪公立大学大学院 農学研究科 准教授）

受付開始
未定

知の巨人 ミシェル・フーコー1、2、3（仮題）

人文

日時：2024年3月（予定）

講師：前川 真行（大阪公立大学 国際基幹教育機構 教授）

※詳細が決まり次第、Webサイトでご案内いたします。



I-siteなんば

受付開始
未定

博学連携講演会

森ノ宮には何があった？—大阪の「ヒガシ」の歴史をさぐる—

日時：2024年3月（予定）全1回

※詳細が決まり次第、Webサイトでご案内いたします。

大阪歴史博物館



講義テーマ ※テーマはすべて仮題 ※午前に①～③、午後に④～⑧の講演を予定しています。

①

【地質・地形】上町台地の形成と台地東部の地形

講師：三田村 宗樹（大阪公立大学大学院 理学研究科 教授）

②

【原始】森ノ宮遺跡 —縄文・弥生時代の暮らし—

講師：大庭 重信（一般財団法人大阪市文化財協会 学芸員）

③

【古代】遺跡にみる難波宮・難波京の東部地区

講師：李 陽浩（大阪歴史博物館 学芸員）

④

【中世】戦国時代の森村と木村（このむら）

講師：仁木 宏（大阪公立大学大学院 文学研究科 教授）

⑤

【豊臣時代】大坂城惣構・城下町の東部と大坂の陣

講師：松尾 信裕（元大坂城天守閣 研究主幹）

⑥

【近世】都市大坂近郊の行楽地 —玉造・猫間川・桃谷—

講師：大澤 研一（大阪歴史博物館 館長）

⑦

【近代】砲兵工廠の建設と生産

講師：三宅 宏司（武庫川女子大学 名誉教授）

⑧

【現代】国鉄・地下鉄森ノ宮駅の開業と周辺開発

講師：櫻田 和也（大阪公立大学 都市科学・防災研究センター 特任講師）

受付開始
未定

中国語初級者向けの ICTを活用した中国語学習法（仮題）

日時：2024年3月（予定）

講師：清原 文代（大阪公立大学 国際基幹教育機構 教授）

※詳細が決まり次第、Webサイトでご案内いたします。



オンライン

Meet 学問に出会う

受付中

文化交流センター・野村証券株式会社共催講座 私たちの暮らしとお金を考える

社会

日時：10月3日(火)～10月24日(火) 18:30-20:00 各火曜日・全4回

定員：120名(先着順) 受講料：無料 ※各回ごとに申し込み

URL：<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-02824.html>

文化交流センター

講義概要

経済情勢の変化によって起きるインフレ。これからのお金の管理に必要な基礎知識を4回シリーズでわかりやすく解説いたします。

講師 松原 伸行

(野村証券株式会社 梅田支店ウェルス・パートナー課シニアインベストメントアドバイザー)

講義スケジュール

第1回 お金の基礎知識

10月3日(火)

資産寿命、インフレ、日米金融資産の違いについて学びます。

第2回 投資の基礎知識Ⅰ 株式と債券

10月10日(火)

伝統的な金融商品「株式・債券」とは。「投資信託」との違いは？

第3回 投資の基礎知識Ⅱ 分散投資

10月17日(火)

資産・地域・銘柄・時期 4つの分散とその効果は？

第4回 投資の基礎知識Ⅲ リスク

10月24日(火)

「失敗」はどうして起きるのか？長期投資の効果は？新NISAの使い方

講座の詳細・申し込み ▶



※文化交流センター・野村証券株式会社共催講座のお問い合わせ

電話：06-6344-5425 Eメール：gr-shak-bunkou3@omu.ac.jp



大阪駅前第2ビル



文化交流センター ホール

※文化交流センターでは2023年12月から2024年2月にかけて、弁護士や公認会計士などの本学OBの専門家を講師とする講座「専門家講座」を開催します。開講日の1～2か月前に、大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイトに公開する予定です。

Enrich

学問を深める

受付中

学校コラボレーションセミナー

人文

社会

難易度 ★★★ (専門職向け)

日時：9月8日(金)～1月25日(木) 18:45-20:45 各金曜日※第6回のみ木曜日・全6回

定員：50名 受講料：12,000円 (全6回分)

URL：<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-02874.html>

オンライン

講義概要

スクールソーシャルワーカー (SSW) は、国が開始する前から文科省に働きかけ、2017年4月にはSSWが学校教育施行規則によって法定化されました。また中教審での議論や貧困対策での議論などを経て、チーム学校の重要な一員、学校プラットフォームの中心者として位置づけがなされました。そして複数の自治体が大阪公立大学SSW評価支援研究所を母体に開発、実施しているプログラム (教育行政、実践家、研究者によるエビデンスに基づく意見交換会に基づくもの) の活用によって、さまざまにSSW実践や自治体に影響を与えています。

本講座では、学校や学校に関連する専門職の方にとって必要な知識を提供します。

講義スケジュール



第1回
9月8日(金)

学校におけるコラボレーションとは

講師：山野 則子 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授)

第2回
10月13日(金)

SOGI (性的指向・性自認) の多様性と学校における安心・安全

講師：東 優子 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授)

第3回
11月10日(金)

特別支援教育との連携：発達障害の理解

講師：木曾 陽子 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授)

第4回
12月8日(金)

精神医学的病態とマネジメント

講師：総田 純次 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授)

第5回
1月12日(金)

排除型社会における子ども・若者の困難と学校教育の課題

講師：西田 芳正 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授)

第6回
1月25日(木)

いじめ問題におけるスクールロイヤーの視点

講師：渡邊 徹 (弁護士法人淀屋橋・山上合同 弁護士/大阪府スクールロイヤー)

講座の詳細・申し込み ▶



受付開始
8月下旬

心理専門職のための体験から学ぶ心理療法

人文

難易度 ★★★ (専門職向け)

日時：10月13日(金)～12月22日(金) 19:00-20:45 各金曜日・全6回

定員：40名 受講料：12,000円 (全6回分)

Webページ公開・申込受付開始：8月下旬～

I-siteなんば

講義概要

本講座ではこれまで3年間、公認心理師資格を取得されたばかりの方を対象に、心理アセスメントの入門的なセミナーを行ってきました。心理療法も学びたいという受講生の方の声を受け、今年度は公認心理師、臨床心理士資格を取得して心理専門職のスタートを切ろうとする方を対象に、心理療法を体験的学習を通じて学ぶ6回シリーズのセミナーを企画しました。



講義スケジュール

狭義の心理療法と広義の心理療法

第1回
10月13日(金)

前半では心理支援の総論として、伝統的な個別の心理療法(狭義の心理療法)と種々のフィールドでのアウトリサーチの心理支援(広義の心理療法)を比較しつつ、その本質を概説します。後半は、継続的なアウトリサーチの心理支援の事例を使ってその勘所を学びます。

講師：総田 純次 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授)

会話としての認知行動療法

第2回
10月27日(金)

認知行動療法は多様な方法の集合体ですが、その屋台骨となるのは援助的な関係であり、そこで行われる会話の様式です。認知行動療法を会話として見た場合、そこにはいくつかの原則を見出すことができます。この回では、そうした原則を体験的に学びます。

講師：岩佐 和典 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授)

夢へのアプローチ

第3回
11月10日(金)

夢へのアプローチは深層心理学による心理療法で重要な手法であり、夢は深い層の意識に気がつくための素材として扱われます。この回では一つの夢を夢見手から提供してもらい、参加者がその夢について夢見手に質問をしていくアプローチを行います。そうした質疑応答を経て夢見手が新たな気づきを得られればそのアプローチは成功とみなします。そうやって夢見手からのフィードバックによって夢へのアプローチを学ぶセッションを行います。

講師：川原 稔久 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授)

箱庭にふれる

第4回
11月24日(金)

箱庭療法は、砂の入った箱とさまざまなミニチュアを用いて行うイメージ表現方法の一つです。全員に箱庭制作を体験していただくことは難しいため、この講義では「触れる」という体験に特化します。そして実際に心理臨床の場で箱庭がどのように活かされていくのかについて、講義を行います。

講師：片畑 真由美 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授)

MSSM法

第5回
12月8日(金)

MSSM法は、自発的な描画と物語が利用された優れた心理療法技法です。MSSMの実施やプロセスには、心理療法家としての根幹的な姿勢や態度が求められると講師は考えています。今回の内容は、MSSM法を実際に体験してみること、体験を振り返り知を深めること、心理療法場面での実施について学ぶことで構成されます。

講師：高橋 幸治 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授)

心理療法と物語

第6回
12月22日(金)

心理療法では、漫画やアニメ、映画などの物語が話題になることが多くあります。この講義では、それらの物語に対する臨床心理学的観点について講義し、絵本を素材とし、物語についてグループ討議を行います。

講師：川部 哲也 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授)

受付開始
11月下旬

毒性病理学基礎講座 ～毒作用を知り、命を守るとは？～

ライフ
サイエンス

難易度 ★★ (要基礎知識)

日時：1月27日(土)～3月16日(土) 10:30-12:00 各土曜日・全6回

定員：20名 受講料：10,000円 (全6回分)

Webページ公開・申込受付開始：11月下旬～

I-siteなんば

講義概要

私たちの身の周りには化学物質が身体に負の影響（毒作用）を及ぼすことがあります。毒性病理学は、起こり得るそのようなリスクを形態学的に探索し、人々の命を守る方策を提供することで、安全・安心な社会の営みに貢献しています。医薬品や農薬の開発に必須である毒性病理学の学術的な背景や意義、そして肝臓、腎臓さらに神経系組織などの主要臓器に生じる基本的な毒性変化について分かりやすく解説します。

講師 山手 丈至 (大阪府立大学 名誉教授・獣医師・日本毒性病理学会 名誉会員)



講義スケジュール

- | | |
|-----------------|---|
| 第1回
1月27日(土) | 毒性病理学入門
「病とは？ 病の成り立ちとは？」 - 病理学の基本概念を説明するとともに、毒性病理学の歴史的背景や社会的意義、そして化学物質に起因する細胞傷害の基本的なメカニズムを解説します。 |
| 第2回
2月10日(土) | 肝臓の毒性病理 (その1)
化学物質の多くが肝臓で代謝されることから、肝臓は毒性変化が最も生じやすい臓器です。肝臓の機能と組織に加え、化学物質に起因する肝細胞の変性・肥大・壊死とその病理学的な意義について解説します。 |
| 第3回
2月17日(土) | 肝臓の毒性病理 (その2)
肝臓にはマクロファージ系の細胞であるクッパー細胞が存在します。マクロファージ機能を起点とした化学物質の肝毒性の発現機序、そして発がん物質の影響を受けやすい肝臓の増殖性病変（変異肝細胞巣や腫瘍）の組織学的特性と発がんメカニズムについて解説します。 |
| 第4回
2月24日(土) | 腎臓の毒性病理
代謝された化学物質の多くは尿から排泄されることから、糸球体での濾過と尿細管からの再吸収を基本的な機能とする腎臓には、多様な毒性変化が生じます。腎臓の機能と組織に加え、化学物質に起因する糸球体構成細胞の変化と尿細管の変性・壊死と、そのメカニズムについて解説します。 |
| 第5回
3月2日(土) | 神経系組織の毒性病理
化学物質による神経組織への悪影響は、高次機能にダメージを与えることから重篤な毒作用と捉えられています。中枢と末梢の神経系組織を構成する細胞の基本的な特徴に加え、化学物質に起因する神経細胞や髄鞘の毒性変化とその意義について解説します。 |
| 第6回
3月16日(土) | 心筋、肺、副腎などの毒性病理
化学物質は様々な臓器や組織に影響を与えます。心筋、肺、副腎などの諸臓器における化学物質に起因する重要な毒性変化とその意義について解説します。 |

お申し込み方法について

以下は大阪公立大学生涯学習センターで実施する公開講座の一般的な受講の流れです。講座によって異なる場合がございますので、受講料のお支払い方法や注意事項については、各講座の詳細ページ及び受講案内を必ずご確認ください。

講座内容 を確認

下のURLまたは二次元コードから「大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト」にアクセスし、各講座の内容をよくお確かめの上お申し込みください。

大阪公立大学 生涯学習・公開講座WebサイトURL

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>



※本冊子に掲載していない講座もあります。
※各講座の詳細および申込ページは、順次Webサイトに公開されます。
(開講日の1～2か月前に公開・申込開始を予定しております)

お申し込み

開講日の1～2か月前から申込受付を始めます。



Webサイトからのお申し込み

各講座の詳細ページ「申し込む」ボタンから申込フォームへアクセスし、必要事項をご入力の上送信してください。

受付完了通知メールが届きますが、受講決定通知ではありません。



往復はがきによるお申し込み

往復はがきの往信用文面に必要事項をご記入の上お送りください。

※講座によりはがきでのお申し込みが不可の場合や記入する内容が異なる場合がございます。詳細は各講座のチラシまたはWebページの申込方法を必ずご確認ください。

受講案内を 受け取る

申込締切後、大学から受講案内メールをお送りします。

申込締切後、大学から受講案内はがきをお送りします。

※応募者多数の場合は抽選の結果をお送りします。後日キャンセルが出た場合は、選に漏れた方の中から再抽選のうえ、繰り上げ当選のご案内をする場合があります。

個人情報について：

お申し込みの際の個人情報は、申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成及び本学公開講座のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

受講準備

対面講座

開講日までお待ちください。

受付で受講料をお支払いください。

(現金またはキャッシュレス決済)

※連続講座の場合は初回受講時に全回分をお支払いいただきます。

オンライン講座

受講案内に従い受講料をお支払いください(銀行振込またはオンライン決済)。また、インターネット環境やZoomアプリ等をご準備ください。

メールに記載のリンク等からオンライン講座に参加してください。

受講当日

* オンライン講座の受講方法はこちらをご覧ください ▶▶
<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/about/application/>



本学が実施する公開講座についてご案内いたします。公開講座にお申し込みいただく前に、以下の内容をよくお読みくださいますようお願いいたします。

1. 大阪公立大学公開講座のご案内

本学では学術研究の成果を公開することにより、地域社会に広く生涯学習の機会を提供することを目的として、公開講座を開催しています。

公開講座は、年齢・学歴を問わずどなたでも受講できます。対象者、受講料、開講日時など、講座ごとに受講条件が指定されていますので、Webサイト上の各講座のページ、公開講座ご案内パンフレット(半期ごと)、各講座の案内チラシなどで詳細についてご確認ください。

2. 開催形式

・対面講座

本学の施設を主な会場として受講いただきます。学外が会場となることもございます。

※自然災害等やむを得ない事情により、オンライン講座に変更となる場合がございます。

・オンライン講座

パソコン、タブレット、スマートフォンなどを使用して、好きな場所からYouTube、Zoom等にて視聴(受講)いただきます。

※パソコン、タブレット、スマートフォンなどの視聴用の端末及びYouTube、Zoom等を視聴できるインターネット環境が必要です。

※視聴にかかる通信費等は受講される方のご負担となります。

※視聴用の端末や視聴用ソフトに関するトラブル、ご自身の通信環境等が原因の問題や障害などにつきまして、個別の対応・補償はいたしかねます。

3. お申し込み・お支払い

講座によってお申し込み方法やお支払い方法が異なります。Webサイト上の各講座のページまたは各講座の案内チラシをご確認ください。

講座の内容に応じて、受講に一定の資格・条件を付している場合があります。

講座の受講において、特別な配慮を希望される場合は、申し込み前に各講座の問い合わせ先までご相談ください。

受講料には消費税が含まれています。

お支払い方法に銀行振込が指定されている場合、振込手数料はご自身でご負担ください。

お支払い方法にオンライン決済または銀行振込が指定されている場合、支払額に過不足がないように十分にご注意ください。

4. キャンセルポリシー

講座開始前であれば、お申し込み後のキャンセルが可能です。ただし、お申し込み後に受講できなくなった場合は、各講座のページまたは各講座の案内チラシに記載の問い合わせ先まで必ずご連絡ください。

講座開始後にキャンセルされた場合、受講料の返金はできません。

ご連絡なくキャンセルが続く場合、受講をご遠慮いただく場合がございます。

5. 受講

お申し込みいただいたご本人以外の方の受講はできません。

同伴や見学は、お断りいたします。

施設内は禁煙です。飲食については各施設のルールを順守してください。

貴重品は必ず手元におき、盗難や紛失にはご注意ください。本学では責任は一切負いかねます。

会場が本学施設の場合、車両でのご来学はご遠慮いただいております。公共交通機関あるいは近隣の有料駐車場をご利用ください。

講座の写真撮影、ビデオ撮影、録音、録画は禁止いたします。

本学の記録用として、対面講座で写真撮影またはビデオ撮影させていただく場合がございます。

本学の記録用として、オンライン講座で録画をさせていただく場合がございます。

6. 講座の中止・休講・補講など

受講者が一定数に満たない場合、その他やむを得ない理由により開講を中止する場合がございます。

自然災害、交通機関の事情、講師の都合、その他やむを得ない事情により講座を休講とする場合がございます。その際の交通費についての補償はできません。補講の有無については別途ご案内いたします。

休講や中止となった場合は、Webサイトの「お知らせ休講情報」または「緊急のお知らせ」(情報がある場合のみトップページに掲載)にてお知らせするほか、メールなどで個別にご連絡を差し上げる場合がございます。

補講に出席できない場合でも受講料の返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

受講料をお支払いいただいた後に本学の判断により中止や休講となる場合、受講料の一部を返金することがあります。返金は、受講者の銀行口座への振込みのみとなります。

7. 資料

資料のみの販売はいたしません。

資料を複製、転載、配布、送信等二次利用することは固く禁じます。

講座によって、テキストを指定し、ご購入いただく場合がございます。

テキストを購入した講座が中止になった場合、ご自身で購入されたテキスト代についてのご請求・返金には応じられません。あらかじめご了承ください。

8. 受講資格の取消

以下のような好ましくない行為があった場合は、本学の判断により、教室からの退出、講座への出席禁止、あるいは損害の賠償を求める場合がございます。

- ・法令に違反する行為又は犯罪行為に関連する行為
- ・公序良俗に反する行為
- ・本学、他の講座受講生又は第三者に不利益、損害、不快感を与える行為
- ・本学、他の講座受講生又は第三者の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉、その他の権利又は利益を侵害する行為
- ・反社会的勢力等への利益供与
- ・第三者になりすます行為
- ・本学の許可なく、公開講座の会場での営業、宣伝、広告、勧誘、その他営利を目的とする行為
- ・面識のない者との出会いや交際を目的とする行為
- ・公開講座の会場で他の講座受講生の情報を収集する行為
- ・宗教活動又は宗教団体への勧誘行為
- ・本学の許可なく、公開講座の内容の録音、録画その他の記録又は保存を行う行為並びに講座受講生以外に対し視聴可能にさせる行為
- ・本学のネットワーク又はシステム等に過度の負荷をかける行為
- ・本学のネットワーク又はシステム等への不正アクセス



- ・以下に該当し、又は該当すると本学が判断する情報を本学又は他の講座受講生に送信する行為
 - コンピューター・ウイルスその他の有害なコンピューター・プログラムを含む情報
 - 過度に暴力的、残虐的、猥褻な表現を含む情報
 - 差別を助長する表現を含む情報
 - 自殺、自傷行為、薬物の不適切な利用を助長する表現を含む情報
 - 反社会的な表現を含む情報
 - チェーンメール等の第三者への情報の拡散を求める情報
 - 他人に不快感を与える表現を含む情報
- ・本学教職員（外部講師を含む）、他の講座受講生へ迷惑となる行為や講義の進行を妨げる行為
- ・前述の行為を直接又は間接に惹起し、又は容易にする行為
- ・その他、本学が不適切と判断する行為

9. 個人情報の取扱い

お申し込み等において本学にご提供いただいた個人情報は、本学のプライバシーポリシーに基づき、講座申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。これらの利用目的以外には、一切使用いたしません。

<お願い>

上記とは一部異なる条件で講座を実施する場合がございます。講座の詳細につきましては、Webサイト上の各講座のページまたは各講座の案内チラシを必ずご確認ください、ご了解いただいた上でお申し込みくださいますよう、お願いいたします。

本冊子に掲載していない講座もあります。

各講座の詳細および申込ページは、順次Webサイトに公開されます。

(開講日の1～2か月前に公開・申込開始を予定しております)

大阪公立大学 生涯学習・公開講座WebサイトURL

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>



大阪公立大学公開講座には、各種サービスをご利用いただける「会員制度」もございます。ぜひご登録ください。

会員制度について ▶



新規会員登録 ▶

* 会員登録は任意です。



交通アクセス

本冊子に掲載している公開講座の会場

車両での来学はご遠慮いただいております。
公共交通機関をご利用ください。

大阪公立大学 アクセスマップ



文化交流センター

大阪市北区梅田1-2-2-600
大阪駅前第2ビル6階

- JR東西線「北新地駅」下車、徒歩約3分
- JR大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車、徒歩約10分
- Osaka Metro四つ橋線「西梅田駅」下車、徒歩約5分
- Osaka Metro谷町線「東梅田駅」下車、徒歩約10分
- Osaka Metro御堂筋線「梅田駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電鉄「梅田駅」下車、徒歩約10分
- 阪急電鉄「梅田駅」下車、徒歩約15分



※博学連携講演会(P7)会場への交通アクセスは、大阪歴史博物館の公式ホームページをご覧ください。



I-siteなんば

大阪市浪速区敷津東2-1-41
南海なんば第1ビル 2階・3階

- 南海「難波駅」下車、なんばパークス方面出口より約800m
- Osaka Metro御堂筋線「なんば駅」下車、⑤出口より約1000m
- Osaka Metro堺筋線「恵美須町駅」①B出口より約450m
- Osaka Metro御堂筋線/四つ橋線「大国町駅」①出口より約450m



中百舌鳥キャンパス

堺市中区学園町1-1

- 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約7分
- 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1000m、徒歩約13分
- Osaka Metro御堂筋線「なかもず駅」⑤出口から南東へ約1000m、徒歩約13分
- 南海高野線「中百舌鳥駅」・Osaka Metro御堂筋線「なかもず駅」から南海バス（北野田駅前行）で約5分、「府立大学前」下車
- JR阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」から南海バス（北野田駅前行）で約14分、「府立大学前」下車



■お問い合わせ・チラシのご請求

大阪公立大学 社会連携課
(生涯学習センター)

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-1-41
南海なんば第1ビル 2階・3階
大阪公立大学I-siteなんば

Tel 06-7656-5112

Fax 06-7656-5203

E-mail gr-shak-ext01@omu.ac.jp

※受付時間：月～金曜 9:00～17:30

(祝日および休業日を除く)

大阪公立大学
生涯学習・公開講座
Webサイト



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

2023年8月発行